

## 第4回 袋川緑地サクラ管理計画策定協議会 議事録（概要）

日 時：令和6年8月21日（水）（9：30～11：00）

場 所：鳥取市役所 多目的室1

参加者：委員7名

永松委員、甲田委員、谷尾委員、粟嶋委員、川端委員、森山委員、山根委員

（議題）

- 袋川緑地のサクラにかかる意見募集の結果について
- 袋川緑地サクラ管理計画（素案）について
- パブリックコメントの実施について

### 1. 開会

2. 事務局より、アンケート結果、袋川緑地サクラ管理計画（素案）、パブリックコメントの実施について説明

### 【質疑応答】

（粟嶋委員）袋川緑地に人が集まることを考えるべきでは？

橋の下には鯉が泳いでおり、鯉を眺めることも楽しみの一つとなっている。

既設のコンクリートブロック舗装の撤去については、早急に対応願いたい。

→（事務局）コンクリートブロック等の話は、整備方針を出してからの実施になるのでご理解をお願いしたい。

（谷尾委員）アンケートは、良い結果が多くて安心している。

サクラのカルテ作成について、永松先生が調査した元データを基本に危険な木を中心に、例えば3年かけて調査してカルテを作成するなどしてはと思うが、具体的に令和7年度から調査してなど、対策時期等を記載するべきでは。

→（事務局）記載する方向で考える。

（川端委員）10 ページ目、サクラの記録の箇所、3～5年毎にと書かれているが、外来生物の寄生は3～5年だと到底間に合わないし、次の項目に特定外来生物の記載があるので、ここには必要ないのでは。また、危険木についても、早急に対応が必要となるので、毎年でも点検するものではないか。

倒木の関係では、樹木医の指導の下、枯れた枝を切断したが、残った枝が大雨で折れた。木ごとに状況が異なるため、樹木医の先生にお任せではなく、詳細な診断、継続的な見守りなども頭の片隅においておくほうがよい。

→（事務局）修正する。

（森山委員）アンケートの意見にもあったが、中心市街地活性化との連携など、にぎわいの創出、利活用等を追加してはどうか。

また、土手の拡幅について、河川管理者との協議状況はどうなっているか。

→（事務局）事前相談はしている。具体的に話を進める際はとしっかりと協議して

いく。利活用の記載は検討したい。

(甲田委員) パブリックコメント時は管理計画の素案と概要版の両方を住民に見せるのか。

また、将来像をフォトモンタージュ等で示せたらイメージもわくのではないか。

→(事務局) 管理計画は素案と概要版の両方提示する予定。フォトモンタージュは、載せる方向で検討する。

(山根委員) サクラの季節だけでなく、1年中人が集まれる場所にできたらと思う。下流側を歩くことがあるが、今の時期は木陰があり、豆砂利舗装で歩きやすい。ブロックでボコボコになっている園路は玉砂利舗装にするなど、今後整備計画を作っていけたらと思う。

鯉の放流の話があったが、自分も子どもの時に放流した世代で、袋川には愛着がある。そういったことも大切に計画をつくり、整備に反映できたらと考えている。

話は変わるが、桜の木はある程度の大きさで固定できるような木ではないと考えたらよいか。

→(谷尾委員) 青森県の弘前城等の街路樹はコンパクトに切って管理している。桜は放っておけばよいとされてきたが、その結果、日本中のあちこちで問題になってきた。こまめにハサミを入れて管理する時代になっている。

(谷尾委員) この計画ができた後は、作業内容やその経過などを情報提供する必要があると思う。太い枝をきって、3年後はこうなったとか。大手術をしたあとはみずぼらしかった木が、年々枝が伸びて緑になってきたとか。このあたりを丁寧にすることで市民の理解も得られると思う。

(川端委員) 継続的にやっていくことは、人が変わってやることも変わることがないよう工夫が必要。

(永松委員) アンケートでも市民の関心が高く、情報発信という視点は必要。管理計画でも記載する方向で検討してはと思う。

→(事務局) 非常に大事なことだと思うので、計画にも記載する方向で検討したい。令和7年度から具体的にどう進めるかは、また関係者の皆さんと協議させていただきたい。

(事務局) (本日欠席している清末委員の意見)

このような取組みを広げていくには、生育環境の話だけでなく、歴史やストーリーを伝えることが大事。それで、人の思い入れが変わってくる。やっている人だけの仕事にならないように。日本人は慶事のたびに桜を植えてきた。袋川の桜土手もそう。市民により興味をもってもらうことが大事ということで、管理計画の中でも少し盛り込めたらと考えている。

(永松委員) 本日も活発なご意見をいただき感謝。利活用や情報発信の話、その他も含め、事務局のほうで素案に反映するというをお願いする。

以上